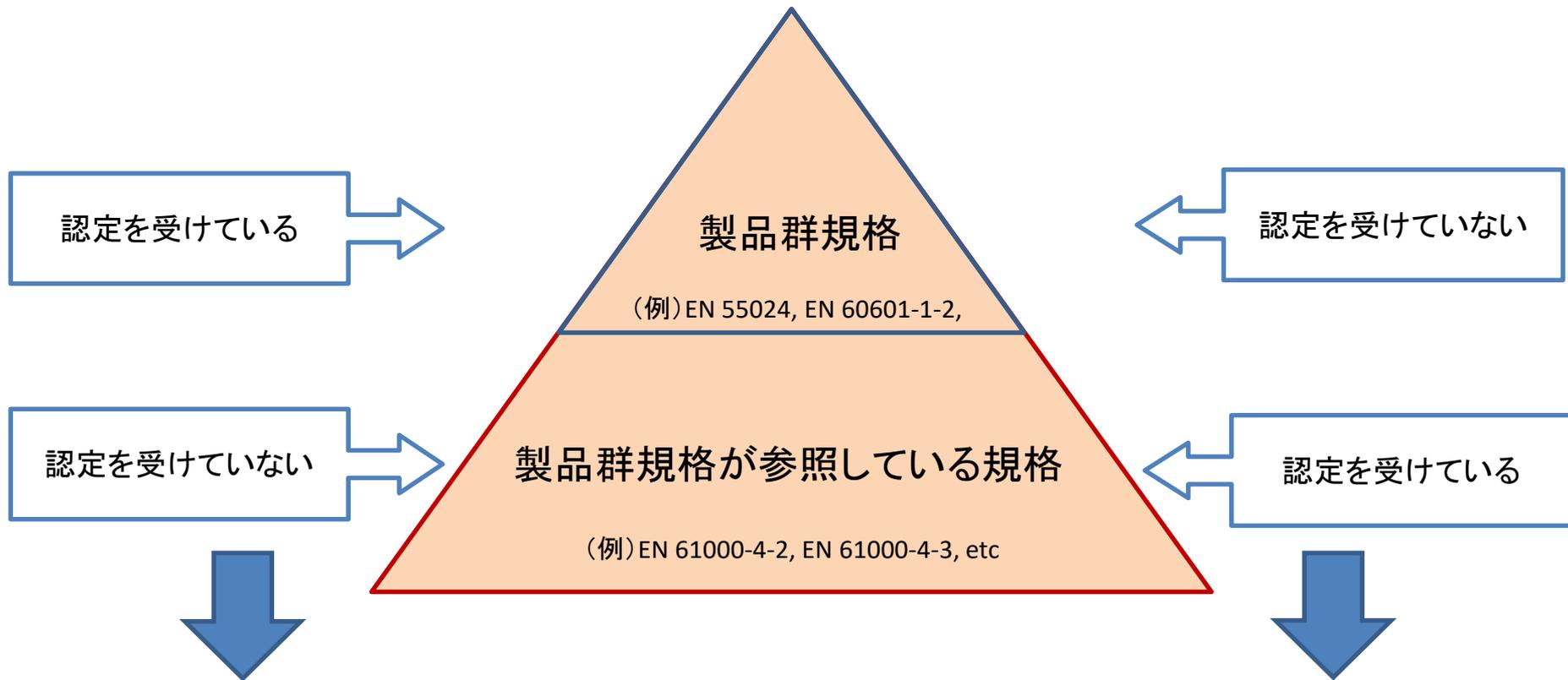


参照規格の認定を取得した場合の注事項

参照規格を認定範囲に含めた場合は、それら単独で試験報告書に認定シンボルを付与できるケースは限られます。(次シート以降参照)



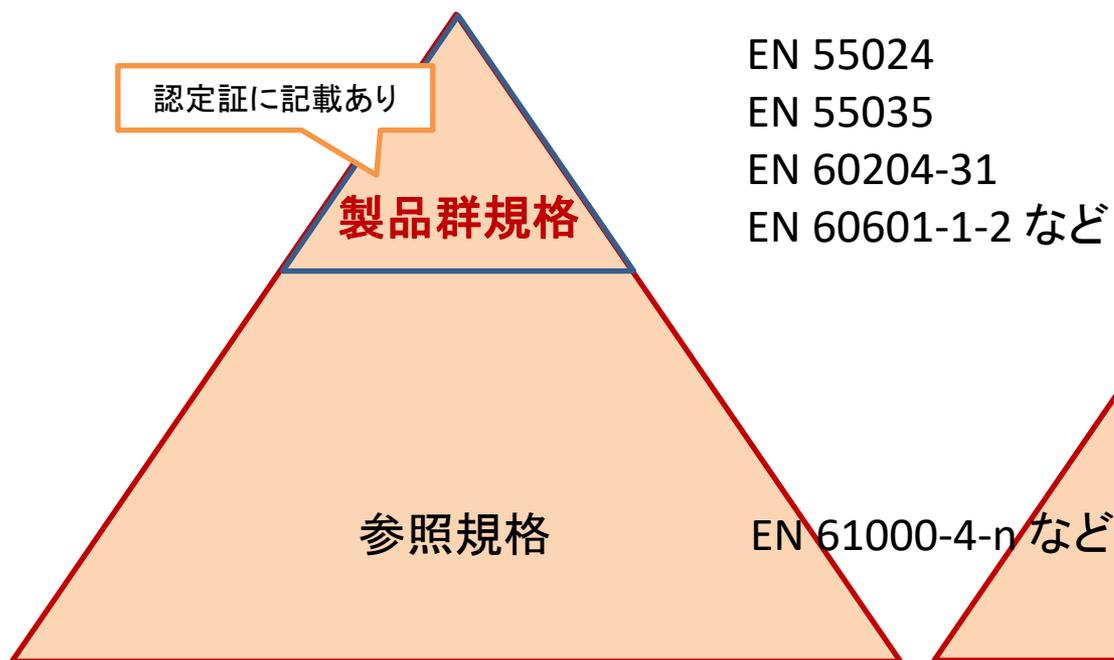
製品群規格が参照している規格は認定を受けていると見做される。

製品群規格は認定を受けていると見做されない。



参照規格の認定を取得した場合の注意事項

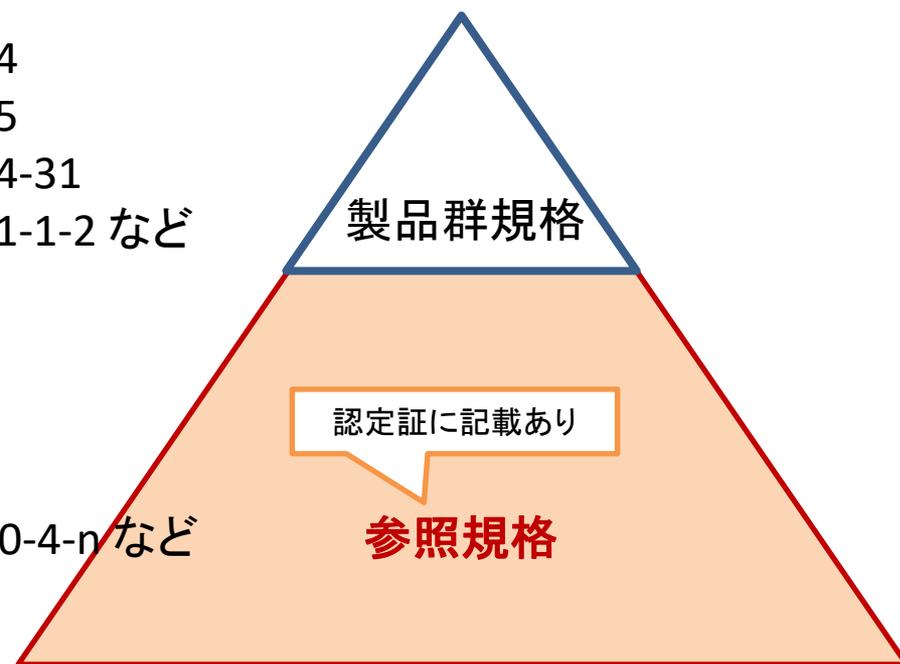
[A] 製品群規格の認定を取得している場合
(参照規格の認定を取得していない場合)



製品群規格が参照している規格も認定
されているとみなす

[注1] 但し、認定範囲は製品群規格が参照している範囲に限定する。

[B] 参照規格だけの認定を取得している場合



製品群規格は認定しているとみなさない

[注2] 参照規格の認定があっても、

[注1]認定範囲は製品群規格が参照している範囲に限定する。

(認定証の試験規格欄にCISPR24を記載、IEC 61000-4-n を記載なしの場合)

CISPR 24

赤字は認定範囲

・CISPR 24:2010 Ed.2.0 ・CISPR 24:2010 Ed.2.0 Corrigendum 1:2011 ・CISPR 24:2010 Ed.2.0 A1:2015	最新版 (2018.12.12現在)
・IEC 61000-4-2:2008	IEC 61000-4-2 Ed. 2.0 :2008
・IEC 61000-4-3:2006+A1:2007+A2:2010	IEC 61000-4-3 Ed. 3.2 :2010
・IEC 61000-4-4:2004	IEC 61000-4-4 Ed. 3.0 :2012
・IEC 61000-4-5:2005	IEC 61000-4-5 Ed. 3.1 :2017
・IEC 61000-4-6:2008	IEC 61000-4-6 Ed. 4.0 :2013
・IEC 61000-4-8:2009	IEC 61000-4-8 Ed. 2.0 :2009
・IEC 61000-4-11:2004	IEC 61000-4-11 Ed. 2.1 b:2017

① CISPR 24は認定範囲なのでCISPR 24にしたがったイミュニティ試験(赤字)は認定シンボルを使用可

② CISPR 24が参照していない版に基づくイミュニティ試験の試験報告書には認定シンボルは使用不可

[注1]認定範囲は製品群規格が参照している範囲に限定する。
(認定証の試験規格欄にEN 55024を記載、EN 61000-4-n を未記載の場合)

EN 55024

赤字は認定範囲

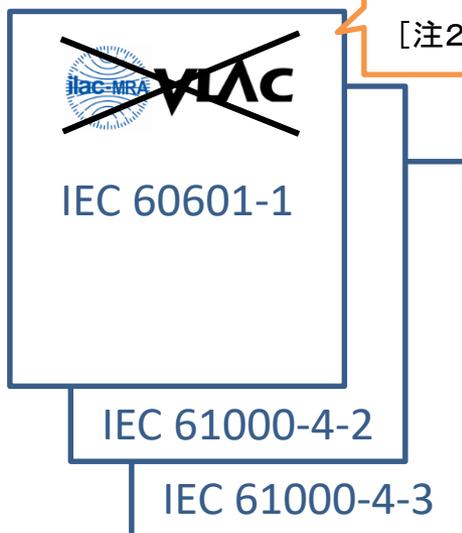
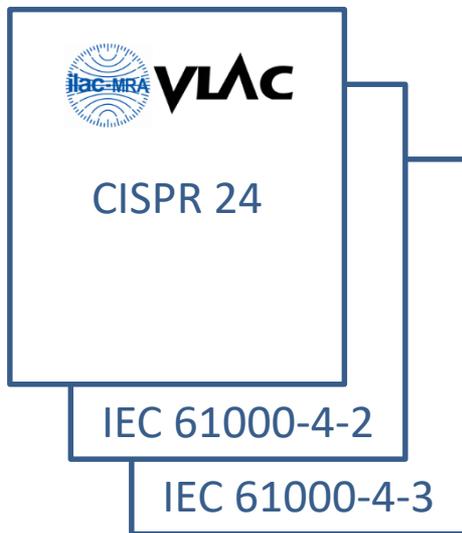
・EN 55024:2010	最新版 (2018.12.12現在)
・EN 61000-4-2:2009	EN 61000-4-2:2009
・EN 61000-4-3:2006+A1:2008+A2:2010	EN 61000-4-3:2006+A2:2010
・EN 61000-4-4:2004	EN 61000-4-4:2012
・EN 61000-4-5:2006	EN 61000-4-5:2014+A1:2017
・EN 61000-4-6:2009	EN 61000-4-6:2014
・EN 61000-4-8:2010	EN 61000-4-8:2010
・EN 61000-4-11:2004	EN 61000-4-11:2004+A1:2017

- ① EN 55024は認定範囲なのでEN 55024にしたがったイミュニティ試験(赤字)は認定シンボルを使用可
- ② EN 55024が参照していない版に基づくイミュニティ試験の試験報告書には認定シンボルは使用不可

[注2] 参照規格の認定があっても、

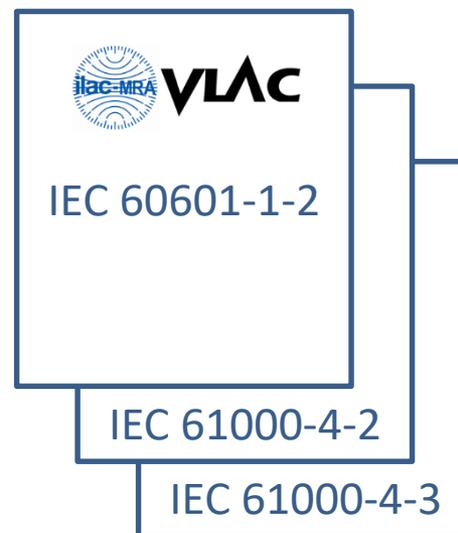
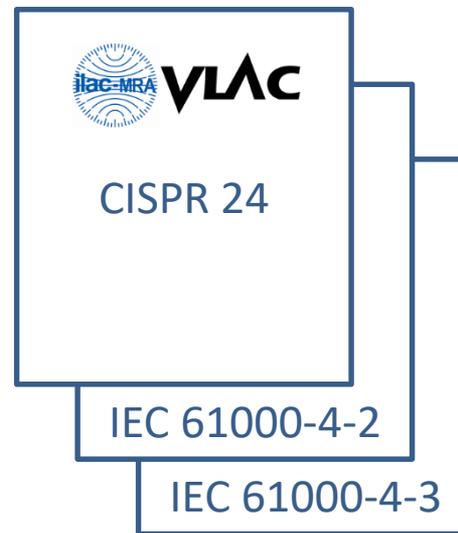
(製品群規格の認定がない場合は、認定シンボルは使用不可。)

CISPR 24認定のみ



[注2] 認定シンボルは使用不可

CISPR 24 & IEC 60601-1-2認定





IEC 61000-4-n/EN 61000-4-n単独で試験した場合の試験結果の評価

IEC 61000-4-n/EN 61000-4-nの9項 の最後に下記の記載がある。

「a)～d)は共通規格，製品規格及び製品群規格の原案を作成する委員会で性能基準を規定するときの指針として用いることができる。

又は適切な共通規格，製品規格及び製品群規格が存在しない場合に製造業者と購入者との間で，性能基準に対する合意を行うための枠組み（考え方の基礎）として用いてもよい。」

⇒ 製品規格及び製品群規格が存在する場合の合否判定基準は、製品規格及び製品群規格に準じる。

[注3] 製品群規格が認定外の場合は、

[注3] 製品群規格が認定外の場合は、
(参照規格単独で認定シンボルを付与できるケースは限られる。)

製品群規格は認定外だが、61000-4-nは認定済の場合



IEC 61000-4-n

試験報告書が、
認定シンボルありの場合は、

試験結果の評価
製品群規格を使えない

IEC 61000-4-
6:2008

試験報告書が、
認定シンボルなしであれば、

試験結果の評価
製品群規格でも、
依頼者との合意でも可

(IEC 61000-4-6:2008は、CISPR 24が参照している。)

IEC 61000-4-n

試験報告書が、
認定シンボルなしであれば、

試験結果の評価
製品群規格を使える

IEC 61000-4-
6:2013

試験報告書が、
認定シンボルなしであれば、

試験結果の評価
製品群規格でも、
依頼者との合意でも可